

睡眠医学

1 担当教員名

- 【研究指導教授】 教授 天 野 哲 也 (代理)
【科目担当者】 教授(特任) 篠 邊 龍二郎

2 教育目標

(1) ねらい

学生は、睡眠医学の病態を、生理学、及び生化学、内科学、心理学、公衆衛生学的な手段を用いて、研究できる技術と思考方法を修得できることを目標とする。

(2) 学修の到達目標

- ① 不眠症、睡眠時無呼吸症候群、ナルコレプシー、レストレスレッグス症候群、レム睡眠行動障害、概日リズム睡眠覚醒障害などの基本病態学習及び診断治療ができる
- ② 睡眠ポリグラフ検査 (PSG) の基本を睡眠科および睡眠医療センターで臨床実習し、装着のみならず、判読、診断、さらに治療法導入の仕方まで実施できる
- ③ 昼間の眠気の判定法である MSLT (反復睡眠潜時検査) および MWT (反復覚醒維持検査) の実習を行い、ナルコレプシーの入眠時 REM 睡眠期 (SOREMP) などの診断ができる
- ④ 睡眠医学に関する研究で、その得られた成果を、国際的な外国雑誌に発表できる
- ⑤ 日本睡眠学会睡眠医療専門医になれる

3 授業内容

【講義】	不眠症、睡眠時無呼吸症候群、ナルコレプシー、レストレスレッグス症候群、レム睡眠行動障害、概日リズム睡眠覚醒障害などの代表的な睡眠障害を中心として、歴史、現状、展望について睡眠医学を学ぶ
【演習】	睡眠ポリグラフ検査 (PSG) の基本を睡眠科および睡眠医療センターで臨床実習し、装着のみならず、判読、診断、さらに治療法導入の仕方まで習得する昼間の眠気の判定法である MSLT (反復睡眠潜時検査) および MWT (反復覚醒維持検査) の実習を行い、ナルコレプシーの入眠時 REM 睡眠期 (SOREMP) などの診断ができるように判読技術を学ぶ
【実験研究】	1) 睡眠障害と生活習慣病との関連に関する研究、2) 光電子工学的手法を用いた睡眠中の生命機能評価法の開発研究、3) 睡眠障害と認知症、4) 起床困難の不登校学生に対する光療法の研究など

4 成績評価の方法・基準

睡眠医学における研究に必要な方法手段を修得できることを評価するため、試験、小テスト、課題レポート等に加え、研究成果を関連学会・研究会にて発表し、関連雑誌に投稿することを総合的に判定する。

5 教科書・参考図書

- i) 睡眠無呼吸症，塩見利明編，朝倉書店，2013
- ii) 睡眠障害診療ガイド，日本睡眠学会認定委員会監修，文光堂，2011
- iii) 睡眠学 日本睡眠学会編．朝倉書店，2009
- iv) Principles and Practice of Sleep Medicine 6th ed. Elsevier Saunders, 2015
- v) 睡眠障害国際分類（ICSD 3rd edition）, 2014

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

週1日程度の, 研究日において, 学習してもらう

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

睡眠医学に関する講義, 演習を通して得られた研究成果を, 査読のある国際的な外国語医学雑誌に掲載し, 関連領域に関わる他科の審議者により, 学位に相当とされれば授与される。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

講義, 演習を通して, 適時フィードバックする
(研究の関しての進捗状況を, 最低でも月1回確認する)

9 履修上の留意点

特になし

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授(特任)	篠邊龍二郎	火	17:30~19:00	中央棟7B睡眠医療センター	-
		水	13:00~14:00	C棟5階医局	内線 22318